

サステナビリティマネジメント

NTT西日本グループの サステナビリティ活動 の考え方

NTT西日本グループは、コーポレートスローガン「あしたへーwith you,with ICT.」を掲げ、ワクワクする未来をめざし、ステークホルダーの皆さまとともに挑戦を続けています。

今後、私たちを取り巻く環境の変化はさらに加速することが予想されます。大きく変化する時代の中でも、地域社会やお客さまとともに発展し、成長し続けるため、2021年、NTT西日本グループは、「西日本スピリッツ」を再定義し、新たな存在意義「パーパス」を定めました。私たちは、持続可能な社会の実現に向けて、パーパスで描く「あらゆる人々が幸せで豊かな未来の姿」を追求しつづけます。

このパーパスに基づき、私たちNTT西日本グループは、社会を取り巻く環境変化がもたらすさまざまな課題に対し、ICTを活用し解決する先駆者として社会の発展、SDGsの達成に貢献します。

具体的なサステナビリティ活動については、NTTグループが2021年11月に新たに制定した「NTTグループサステナビリティ憲章」に則り、グループ一体となって取り組んでいきます。

パーパス

「つなぐ」その先に「ひらく」
あたらしい世界のトビラを

私たちは、地域社会の一員として、
あらゆる人々が幸せで豊かな未来の姿を追求しつづけます。
そのために、技術と知恵をみがき、
新たな価値の共創に挑戦します。

コーポレートスローガン

あしたへー *with you, with ICT.*

NTT西日本グループは、未来へ向かってお客さま、パートナーのみなさまと一緒に、
あたらしい価値を生みだしていきます。
通信で培ったテクノロジーを礎に、人を、技術をアイデアをつなぎ未来のソリューションを創造していく。
私たちは、ICTでワクワクする未来を実現させます。

西日本スピリッツ

NTT西日本グループは、1999年の設立以来、「西日本スピリッツ」をもとに、事業活動を展開してきました。

2021年、経営環境や社員の価値観等の変化を踏まえ、新たな事業運営体制への移行を契機に、「西日本スピリッツ」を再定義しました。新たな「西日本スピリッツ」は、「パーパス」「行動指針」「行動規範」で構成されます。

パーパス

インターナル／エクスターナル双方の企業ブランディングに通底し、将来にわたって企業・組織と社員が共有する、普遍的な存在意義

行動指針

利他・共生 姿勢は一貫して、お客さまや社会とともに

- ✓ お客さまや地域社会の声・思いを大切にし、ともに発展する
- ✓ 持続可能な社会をめざし、自然環境に優しい行動をとる

多彩・包容 多様性を認め、ひろく受け容れる

- ✓ 互いの個性や価値観を尊重し、それぞれの強みをかけ合わせる
- ✓ とともに働く仲間や、支えてくれる家族の幸せを思う

研鑽・果敢 たゆまぬ自己成長と、勇気ある挑戦

- ✓ つねに向上心をもって、自らのスキル・専門性を高め続ける
- ✓ 大胆に発・着想し、失敗を恐れず、迅速に実行へ移す

自立・誠実 社会の一員としての責任ある“個”

- ✓ 自信・誇りを胸に、目標に向かって、自らの意志で考え、行動する
- ✓ 高い倫理観を保ち、法令や各種ルール、社会規範を遵守する

行動規範

利他・共生

電気通信事業法・会社法・電波法等、私たちの事業活動の拠りどころである法令を遵守したうえで、

- ✓お客さまに虚偽のない提案を行い、適正な契約を結ぶとともに、お客さまの情報管理を徹底します
- ✓ビジネスパートナーと公正な取引を行い、対等かつ公平なパートナーシップを構築します
- ✓法令遵守、労働安全衛生、環境保全活動の推進、人権の尊重等の社会的責任を果たしている外注先・購入先を選定します
- ✓談合等の市場競争を阻害するような行為を行わず、公正かつ自由な競争を促進します

多彩・包容

風通しがよく、誰もが働きやすい環境をつくるために、

- ✓双方向コミュニケーションを大切にし、あらゆる差別、人権侵害、ハラスメントを行いません
- ✓適切な就業管理のもと、過重労働の発生を抑止するとともに、不払い残業を行いません

研鑽・果敢

新たなことへ積極的にチャレンジするにあたって、

- ✓いかなる場合であっても贈収賄行為には関与しません
- ✓法令や社内規則に反する接待・贈答は厳に慎みます
- ✓反社会的勢力との取引は一切行いません

自立・誠実

- ✓業務に関わるさまざまな情報やデータについて、正しく適切に取り扱います
- ✓自社の知的財産権を保護するとともに、第三者の知的財産権を尊重し侵害しません
- ✓サイバー攻撃への対策を含む情報セキュリティを徹底するとともに、プライバシー侵害、不正アクセス等を行いません
- ✓会社の負担で個人的利益を得る行為を行いません
- ✓絶対に、飲酒運転はしません、させません、許しません
- ✓もし不正があるときは、勇気をもって、声をあげます
会社は声をあげた方に不利益が及ばないよう、責任をもって、対処します

そして、私たち一人ひとりが、この「行動規範」を尊重して行動します

NTTグループサステナビリティ憲章

NTTグループは、2020年に制定した「NTTグループサステナビリティ憲章」を、経営戦略との連動を図り実効性を高めるとともに、外部環境の変化に合わせたことを目的に、2024年に4月に改訂しました。本憲章に基づき、NTTグループは、高い倫理観と最先端の技術・イノベーションを可能とするIOWN構想の推進をはじめ、「企業としての成長」と「社会課題の解決」を図り持続可能な社会の実現をめざします。

具体的には、3つのテーマ「『自然（地球）』との共生」、「『文化（集団・社会〜国）』の共栄」、「『Well-being（幸せ）』の最大化」を設定し、取組みを推進します。

NTT西日本グループも同様に、3つのテーマに沿って社会課題の解決に努めていきます。

NTTグループの取組みの概要

3つのテーマ	9つのチャレンジ	18のアクティビティ
「自然(地球)」との共生 環境問題の解決と経済発展の両立に貢献します。	社会が脱炭素化している未来へ	1. 自らの脱炭素の推進(省エネ推進、IOWN導入、再エネ開発・利用拡大、技術創出) 2. サプライチェーン全体の脱炭素の推進
	資源が循環している未来へ	3. 通信設備・携帯端末等(金属、プラスチック等)のリユース・リサイクルの推進 4. 有害廃棄物の適正な処理、保管・管理徹底
	人と自然が寄り添う未来へ	5. 生物多様性や生態系・森林保全の推進 6. 水資源の適切な管理
「文化(集団・社会〜国)」の共栄 民主的で多様な文化を認め合いながら発展する社会と価値創造に貢献します。	倫理規範の確立と共有	7. 倫理規範(コンダクトリスク含む)・コンプライアンス・ガバナンスの強化徹底 8. ビジネスパートナーとの高い倫理観の共有
	デジタルの力で新たな未来を	9. お客さま(個人、法人、自治体等)が使い続けたいと思うサービス・サポートの継続改善 10. 知的財産の保護と尊重
	安心安全でレジリエントな社会へ	11. サービスの安定性と信頼性の確保 12. 情報セキュリティ・個人情報保護の強化
「Well-being(幸せ)」の最大化 人権尊重とDiversity & Inclusionの推進によりあらゆる人々の幸せの最大化に貢献します。	人権尊重	13. NTTグループ人権方針の遵守 14. サプライチェーンを通じた社会全体への人権尊重の働きかけ
	Diversity&Inclusion	15. 多様な人材の獲得 16. 多様な人材の活躍推進
	新しい働き方・職場づくり	17. 多様な働き方・健康経営の推進(リモートスタンダード/ハイブリッドワーク等) 18. 自律的な能力開発の支援

[詳しくはこちら](#)

NTTグループホームページ ▶ [NTTグループサステナビリティ憲章](#)

サステナビリティマネジメント

推進体制

NTT西日本グループは、サステナビリティ・SDGs、ダイバーシティ & インクルージョン、環境経営等のESGに関わる基本方針策定、KPIや施策の検討、活動の推進、全社横断的課題等を検討する「ESG推進委員会」を設置しています。ESG推進委員会は、代表取締役副社長兼副社長執行役員が委員長を務め、各組織の代表として、本社各室部長・支店長、グループ会社社長が委員となり、オブザーバとして監査役が出席する構成となっており、各組織の代表が組織内における推進役を担い、NTT西日本グループ全体のESGに関わる基本方針、戦略の策定、全社横断的課題等の検討、活動の推進、KPI等の進捗状況モニタリング等を行っています。

また、ESG経営を強化する観点から「ESG推進室」を設置し、ESG経営推進に係る機能を一元化しています。このような体制構築により、ESG経営・サステナビリティに関する取組みを一層強化することで、持続可能な社会の実現をめざしています。

「NTTグループサステナビリティ委員会」は委員長（NTT 代表取締役副社長）、当社を含む主要各社のサステナビリティ最高責任者（副社長、常務取締役）などの委員で構成されており、NTTグループ全体のサステナビリティ活動を推進するための体制となっています。さらに定期的に開催される「NTTグループサステナビリティ連絡会」には各社のサステナビリティ推進担当者が参加し、各社共通のサステナビリティ課題や各社の優良取組みを共有しています。加えてサステナビリティ重要課題の実施状況のPDCAを相互に確認し合うことで、NTTグループとして一体感のあるサステナビリティの取組みを推進しています。

NTT西日本グループ ESG推進委員会のおもなテーマ（2023年度）

開催回数：5回

- NTT西日本グループのESG経営推進に向けた取組み
- ESG重要指標の達成状況と見直し
- サステナビリティ推進関連の各取組み
- NTTグループ 環境エネルギービジョンおよびNTT西日本グループの取組み
- 温室効果ガス・電力使用量の削減に向けた取組み
- 社用車EV化に向けた取組み
- 女性活躍推進に関する取組み
- 男性社員の育児参画推進に向けた取組み
- 障がい者雇用推進に向けた取組み
- 社員エンゲージメント向上に向けた取組み
- 社会貢献活動等の取組み
- 人権啓発に向けた取組み
- 社外有識者講演



サステナビリティ・SDGsの意識浸透

NTT西日本グループのサステナビリティ活動の推進やSDGs達成に向けた取組みの担い手は一人ひとりの社員です。実際にお客さまや地域社会の皆さまと接する社員が、現場で社会課題に対するアンテナを張り、それらの課題を自分ごととして捉えて、主体的に行動を起こすことができるよう、定期的に西日本スピリッツをはじめとする当社グループのサステナビリティに関する考え方やSDGsに関する意識浸透活動を行っています。

2023年度は、「スピリッツ・ウィーク」として、全社員がパーパスを道標とした自身の仕事と、社会やSDGsとのつながりについて考え、今後の行動を議論・宣言をする期間を設けました。また、「KAIZEN推進フォーラム」として、KAIZEN優良施策の発表や水平展開に向けた議論等を行う全社的なイベントで、全社重点取組みとして、「サステナビリティへの理解・共感・行動化／D&I推進/社員の働きがい・働きやすさ向上」の3つのプログラムを設け、動画学習コンテンツの配信、優良事例紹介やディスカッション、ダイバーシティワーキングメンバー等による活動内容の発表を行い、「サステナビリティの自分ごと化による行動変容」「ダイバーシティ&インクルージョンやエンゲージメント向上の重要性」について理解を深めました。



サステナビリティマネジメント

SDGsへの貢献 (事業とSDGsのつながり)



SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年に国連総会で採択された「2030年に向けて国際社会が持続可能な開発のために取り組むべき17の目標」です。NTTグループでは2016年9月にSDGsに対する賛同を表明しました。

NTT西日本グループは、社会を取り巻く環境変化がもたらすさまざまな課題に対し、ICTを活用し解決する先駆者として、社会の発展、持続的成長（SDGsの達成）に貢献することをめざしています。

NTT西日本グループは、サステナビリティ活動を推進するため、NTTグループのサステナビリティ憲章の3つのテーマに取組みを分類し、重点活動項目を設定しています。これらの重点活動項目や自業務をSDGsと関連づけ、事業運営を図っています。

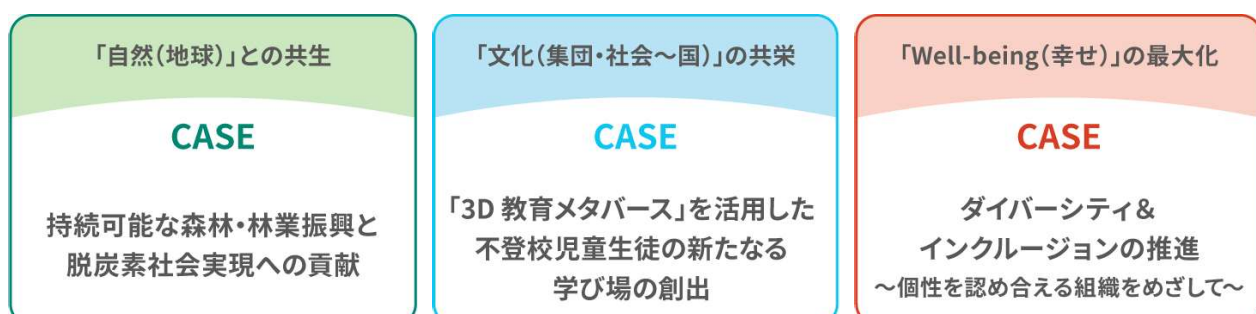
「NTT西日本グループの業務は、直接的もしくは間接的にSDGsに貢献している」ということを、社員一人ひとりが意識しながら、日々の業務に取り組むことで、NTT西日本グループはSDGs達成に貢献し、地域の方々から愛され、信頼される企業群に変革し続けます。

● SDGs達成へのアプローチ

NTT西日本では、地域に密着したソリューションの提供に取り組むべく、日頃より自治体をはじめとする地域社会の皆さまとの対話を大切にしています。対話では、地域独自の課題についてお声をいただくことが多く、その地域課題を起点に、当社グループがそれら課題解決に対して解決につながる新たなビジネスを創出する「アウトサイドイン」によるアプローチを行っています。



SDGsへの貢献に向けたおもな取り組み



サステナビリティマネジメント

NTT西日本グループの 重点活動項目（マテリアリティ）

NTT西日本グループは、社会を取り巻く環境変化がもたらすさまざまな課題に対し、ICTを活用し解決する先駆者として、社会の発展、持続的成長（SDGsの達成）に貢献することをめざしており、「NTTグループサステナビリティ憲章」の3つのテーマに取組みを分類し、NTT西日本グループとしての重点活動項目を設定しています。2024年度はお客さま体験（CX）をより強化する観点からにより、重点活動項目の見直しを行いました。

NTT西日本グループは、優先的に取り組む重要課題を、以下のプロセスを経て特定しています。

重点活動項目の選定プロセス

STEP ① 社会的な課題を網羅的に把握

SDGs、第三者評価機関の評価基準、国際的なガイドライン(ISO26000・GRI Standards)、他企業のマテリアリティ等を参考に、社会課題を洗い出し、NTT西日本グループとして取り組むべき課題を議論・選択

STEP ② 優先度の評価

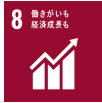
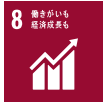
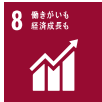
NTTグループの方針に則り、NTTグループとして設定する重要課題を重視するとともに、社会からの要請を踏まえ、NTT西日本グループの事業活動として優先度の高い重要な取組みを選定

STEP ③ 妥当性の評価

選定した重要項目をESG推進委員会で審議し決定

2024年度の重点活動項目は以下になります。

3つのテーマ	重点活動項目	関連するおもなSDGs
「自然（地球）」との共生	脱炭素社会の推進	 
	資源循環型社会の推進	
	生物多様性の保全	    
「文化（集団・社会～国）」の共栄	お客さまのCX向上	  
	光顧客基盤の推進	 
	通信サービスの安定性・信頼性確保	 
	セキュリティの強化	  
	法令遵守の徹底、高い倫理観に基づく企業活動	   

3つのテーマ	重点活動項目	関連するおもなSDGs
「Well-being(幸せ)」の最大化	人権意識に基づく企業活動	 
	ダイバーシティ & インクルージョンの推進	   
	デジタル人材育成	 
	働きがいのある職場の実現	  
	健康経営の推進	 
	安全労働の推進	 
	社会貢献活動の推進	 

※2024年度の見直しにより、重点活動項目からお客さまのCX向上を新たに設定しました。

見直し

定期的に見直しを行い、社会環境の変化に対応した重点活動項目の設定に努めます。

進捗管理

特定した重点活動項目に対する取組みの進捗管理として、「見える化」指標を用いて、当社のサステナビリティ活動における取組みの達成レベルを推し量っています。



詳しくはこちら

サステナビリティ ▶ [NTT西日本グループ「見える化」指標](#)



サステナビリティマネジメント

NTT西日本グループ 「見える化」指標

NTT西日本グループは、2010年度からサステナビリティ活動における取組み達成レベルを推し量るための指標として「見える化」指標（KPI）を設定しています。特に事業と関係性の深い「見える化」指標に絞り込みを実施するとともに、各種目標とSDGsとの関連づけを行い、サステナブルな事業運営を推進しています。

なお、目標設定の対象範囲は、原則として、NTT西日本グループとしており、それ以外の場合には個別に明記しています。

「自然（地球）」との共生

見える化指標	定量数値	2023年度目標 (中長期目標を設定した年度)	2023年度実績	2024年度目標 (中長期目標を設定した年度)	関連するおもなSDGs
重点活動項目：脱炭素社会の推進					
温室効果ガスの排出削減	温室効果ガス排出量の削減率	カーボンニュートラル（2040年度）	自責※温室効果ガス排出量 29.48万t-CO ₂ e	カーボンニュートラル（2040年度）	
	サプライチェーン全体の削減率 (2024年度より目標設定)	—	—	サプライチェーン全体のネットゼロ(2040年度)	
社用車のEV化率【EV100】	社用車EV化率	50%（2025年度） 100%（2030年度）	36.2%	50%（2025年度） 100%（2030年度）	 
サービス提供を通じた社会の環境負荷低減	NTTグループソリューション環境ラベル取得数	1件	1件	—	 
資源循環型社会の推進					

見える化指標	定量数値	2023年度目標 (中長期目標を設定した年度)	2023年度実績	2024年度目標 (中長期目標を設定した年度)	関連するおもなSDGs
資源循環利用の推進	廃棄物のリサイクル率（撤去通信、建設廃棄物、オフィス）	98.9%以上	98.8%	99%以上	
	PCBに関する法令違反件数（2024年度より目標設定）	—	—	0件	
環境貢献、業務効率化に向けた取組み	事務用紙の削減率	2020年比 44%削減	2020年度比 53%削減	2020年比 55%削減	
生物多様性の保全					
自然保護	自然保護地区に設置した事業用設備数、全体に占める割合（2024年度より目標設定）	—	—	モニタリング開始	    
みどりいっぱいプロジェクトの推進	みどりいっぱいプロジェクト活動府県	30府県	30府県	30府県	    

※ 自責：NTT西日本グループが自らの事業活動により排出した温室効果ガス

「文化（集団・社会～国）」の共栄

見える化指標	定量数値	2023年度目標 (中長期目標を 設定した年度)	2023年度実績	2024年度目標 (中長期目標を 設定した年度)	関連するおもなS DGs
お客さまのCX向上					
CXの向上	顧客エンゲージメント 率 (2024年度より目標 設定)	—	—	顧客内NPI:77. 0% NPS:-29.9%	8 働きがいも 経済成長も 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 11 住み続けられる まちづくりを
	お客様の声を踏まえた サービス改善件数※1	対前年度比増	35件(前年度 比11件増)	対前年度比増	
Smart10xの拡充・開拓					
Smart10xの拡 充・開拓に向けた 取組み	Smart10x (B2B2X) 収益額	930億円	755億円	—	8 働きがいも 経済成長も 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 11 住み続けられる まちづくりを
	サービスリリース数	—	15件	—	
光顧客基盤の推進					
光顧客基盤の拡大	光サービス契約数	純増15万回線 (契約者数1,04 0万)	純増3.7万回線 (契約者数1,02 9万)	純増5万回線 (契約者数1,03 4万)	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 11 住み続けられる まちづくりを
通信サービスの安定性・信頼性確保					
高品質で安定した 通信サービスの確 保	重大故障発生件数※2	0件	2件	0件	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 11 住み続けられる まちづくりを
セキュリティの強化					
セキュリティ強化 に向けた取組み	サイバー攻撃に伴う重 大なインシデント発生 件数※3	0件	0件	0件	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 11 住み続けられる まちづくりを

見える化指標	定量数値	2023年度目標 (中長期目標を 設定した年度)	2023年度実績	2024年度目標 (中長期目標を 設定した年度)	関連するおもなSDGs
	セキュリティ人材数 (SA・Aレベル)	累積750人以上 (2025年度)	806名	累積750人以上 (2025年度)	4 質の高い教育を みんなに 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう
	重大な情報漏洩の件数 (2024年度より目標 設定)	—	—	0件	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 11 住み続けられる まちづくりを
法令遵守の徹底、高い倫理観に基づく企業活動					
コンプライアンス の徹底に向けた取 組み	反競争的な違反行為・ 贈収賄違反件	0件	0件	0件	10 人や国の不平等 をなくそう 16 平和と公正を すべての人に

※1 2023年度目標のウィズカスタマー活動における改善件数を2024年度目標より見直し

※2 対象範囲：NTT西日本

※3 2023年度目標のサイバー攻撃に伴うサービス停止件数を2024年度目標より見直し

「Well-being(幸せ)」の最大化

見える化指標	定量数値	2023年度目標 (中長期目標を設定した年度)	2023年度実績	2024年度目標 (中長期目標を設定した年度)	関連するおもなSDGs
人権意識に基づく企業活動					
人権の尊重に向けた取組み	確認された人権に関する違反件数	0件	15件	0件	 
	改善が必要なサプライヤとの直接対話実施率※1	100%	100%	100%	 
ダイバーシティ & インクルージョンの推進					
女性活躍に向けた取組み	女性管理者比率	15%(2025年度)	11.1%	15%(2025年度)	
	女性の新任管理者登用率	30%	30%	30%	
	女性役員比率	25～30%(2025年度)	27%	25～30%(2025年度)	
障がい者雇用促進に向けた取組み	障がい者雇用率 (翌年6月1日時点)	2.30%以上（法定雇用率）	2.83%	2.50%以上	 
外部人材の採用	外部人材採用数	125人	91人	—	 
男性育休取得	男性育休取得率	100%以上	190%	100%以上	
LGBTQ+等の理解促進	PRIDE指標	ゴールド	ゴールド	ゴールド	
デジタル人材育成					

見える化指標	定量数値	2023年度目標 (中長期目標を設定した年度)	2023年度実績	2024年度目標 (中長期目標を設定した年度)	関連するおもなSDGs
デジタルデータ活用・強化に向けた取り組み	デジタル人材認定数 (SA・Aレベル)	デジタル人材認定数 (SA・Aレベル) SA認定:累計400認定・A認定:累計8,000認定	SA認定:累計140認定 A認定:累計7,012認定	SA認定:累計400・A認定:累計8,000(2025年度)	4 質の高い教育をみんなに 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
働きがいのある職場の実現					
柔軟な働き方の実現	リモートワーク実施率 (オフィスワーカー)	60%	54%	対前年度比増	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを
	自律的な働き方の肯定的な回答率 (2024年度より目標設定)	—	—	対前年度比増	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを
働きがいのある職場の実現	社員エンゲージメント率	対前年度比増	51%(前年度比▲4pt)	—	8 働きがいも経済成長も
健康経営の推進					
社員の健康維持に向けた取り組み	プレゼンティーイズム損失率 (2024年度より目標設定)	—	—	6.0以下	3 すべての人に健康と福祉を 8 働きがいも経済成長も
	特定保健指導対象者率	14.5%以下	18.9% (NTT西日本単体は18.6%)	18.2%以下	
	特定保健指導完了率	55.0%以上	20.2% (NTT西日本単体は20.4%)	45.0%以上	
安全労働の推進					
労働災害の根絶	労災事故の発生件数※2	0件	1件	0件	3 すべての人に健康と福祉を 8 働きがいも経済成長も
社会貢献活動の推進					

見える化指標	定量数値	2023年度目標 (中長期目標を設定した年度)	2023年度実績	2024年度目標 (中長期目標を設定した年度)	関連するおもなSDGs
イベント・ボランティア活動等への参加	社会貢献、ボランティア活動等への参加数	対前年度比増	148.2%	対前年度比増	16 平和と公正をすべての人に  17 パートナリープで目標を達成しよう 

※1 2023年度目標の重要なサプライヤとの直接対話実施率を2024年度目標より見直し

※2 対象範囲：NTT西日本